

「初の冬季体験ツアー。入隊に向けて！」

～ 冬季戦技等を体感し、教育大隊を研修・懇談 ～

＝＝令和5年2月4日（土）

真駒内駐屯地＝＝

自衛隊札幌地方協力本部は、令和5年2月4日（土）、陸上自衛隊入隊予定者及び保護者ら26名に対して、今回初となる第120教育大隊の研修及び冬季戦技等体験ツアーを実施しました。

本研修は第11旅団及び第120教育大隊との協同により、第120教育大隊の教育内容や生活環境等を入隊予定者らに紹介するとともに、札幌地本として初めての試みである冬季戦技等の体験を通じて冬季ならではの魅力を発信し、安心感の付与及び入隊意欲の向上を図ることを目的としています。

参加者は、10式雪上車の体験試乗のほか、上級スキー指導官の説明の後、官品スキー及びかんじきの装着体験を行いました。

日頃からスキーに慣れ親しんでいる道産子らも、官品スキーとの違いに興味津々でした。また、初めてかんじきを体験する参加者が殆どでしたが、雪に沈まない感覚に歓声を上げながらも、恐る恐る新雪を踏みしめ、深い雪の中でも、充実した防寒服と、自由に行動できる陸上自衛官の装備と技能に惹かれた様子でした。

食堂における体験喫食の後、第120教育大隊の池田大隊長が前期教育の概要等についてビデオを併用して説明し、施設見学、第120教育大隊の助教との懇談を実施しました。

入隊時期が近づいてきたこともあり、具体的な質疑応答によって終始盛り上りました。

参加者からは、「入隊後の流れが良く分かった」「直接教えてくれる教育隊の方と話が出来て安心した」「訓練は厳しそうだが、仲間と頑張り体力検定1級を目指したい」などの声が聞かれました。

札幌地本は、今後も部隊と連携し、入隊予定者らの不安解消に努めるとともに、引き続き自衛隊の活動や任務を理解してもらえよう、募集広報活動に全力を注いでいきます。



参加者全員の記念撮影



陸自の充実した防寒戦闘服の展示・説明



雪上車の体験試乗



上級スキー指導官の模範演技



かんじきの取り付けを体験



教育大隊の若手助教との懇談